

令和7(2025)年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	ハイパーカミオカンデで拓くニュートリノ研究の新たなフロンティア
研究代表者	横山 将志 (東京大学・大学院理学系研究科 (理学部)・教授)
審査結果の所見	<p>【学術的意義、期待される成果】</p> <p>現在建設中のハイパーカミオカンデを活用して実施する T2K 実験において、ニュートリノ CP 対称性 (物質・反物質対称性) の測定をすることは、物質優勢の宇宙の謎を解決する重要な鍵であり、本研究によって展開される新しい学術のビジョンが明確であるとともに、実行可能性も高い。ハイパーカミオカンデの能力を最大限発揮し、短期間で有意な CP 対称性の破れを検出するために、本研究では中間水チェレンコフ検出器の設置と、ハイパーカミオカンデに使用する多数の検出器較正技術を確立する必要があるが、その研究手法は明確であり実現の可能性が高く、国際的にも卓越した研究成果を上げることが期待できる。</p>